



給 湯 設 備	<input type="checkbox"/> 配管材料	膨脹管及び捕水タンクよりボイラー等への捕水管を含む。 既設 ○銅管 ○耐熱性塩ビライニング鋼管 ○ステンレス鋼管 (SUS304) ○ 改設 ○耐熱性塩ビライニング鋼管 ○ステンレス鋼管 (SUS304)
	<input type="checkbox"/> 瓶 類	給水設備の当該事項による。
	<input type="checkbox"/> 滲漏器の排気筒	既設 ○排気筒の排氣筒とする。 既設の排気筒(二重筒)の他の部品運行を行う。
	<input type="checkbox"/> 保 温	(便益の別は標準仕様第2編3.1.5表2.3.5.h.(イ)とする) イ)呼び径600mm以下 S A S 3 2 2 (一般配管用ステンレス鋼管の耐候性性能 基準)を満足した継手による接合 ロ)呼び径750mm以上 ○溶接接合 ○ハーフジョイント接合 ○フランジ接合
	<input type="checkbox"/> マルチ管の接合方法	
	<input type="checkbox"/> 配管材料	イ)一般 既設 ○配管用炭素鋼管 (白) ○石墨被覆鋼管 (S T P G - V 8 ) 改設 ○配管用炭素鋼管 (白) ○石墨被覆鋼管 (S T P G - 3 7 D V S )
	<input type="checkbox"/> 地中埋設部	既設 ○地中埋設鋼管 (S G P - V S ) ○外被覆鋼管 (S T P G - 3 7 D V S ) 改設 ○外被覆鋼管 (S G P - V 8 ) ○外被覆鋼管 (S T P G - 3 7 D V S )
	<input type="checkbox"/> 壁内消火栓種別	既設 ○易操作性: 1号消火栓 ○2号消火栓 改設 ○易操作性: 1号消火栓 ○2号消火栓 ○広範囲型2号消火栓
	<input type="checkbox"/> 壁内消火栓開閉弁	
	<input type="checkbox"/> 保 温	イ)充水タックの保温 既設 ○有 ○無 改設 ○要 ○不要 なお、充水タックの保温は、標準仕様書第2編3.1.5表2.3.5 給水管の項 による。 ハ)室外露出管については給水管に準ずる。
ガ ス 設 備	<input type="checkbox"/> 配管材料	イ)外露 既設 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ガス事業者の規定による( 改設 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ガス事業者の規定による( ロ)地中埋設部 既設 ○配管用炭素鋼管 (白) ○ガス事業者の規定による( 改設 ○配管用ガスフレキシブル管 ○ガス事業者の規定による( オ)実測式 ○バルブ式 ○管と品 ○実測式 ○バルブ式 ○管と品 貸与品 ○(50 k g 本) 貸与品 ○(50 k g 本) イ)製造装置 ○標準施工7.2による ロ)転倒防止等 ○標準施工7.3 ○(a) ○(b)) ○有 ○無 ○本事業 (表示の箇所に取り付ける) ○分離形 ○一体形 ○別工事 外部公端子 (○有 ○無) イ)一般敷地内 (0.0m以上) ○敷地内車両道 (0.0m以上) 別途による。
	<input type="checkbox"/> バルクタンク	
	<input type="checkbox"/> ガス漏れ警報器	
	<input type="checkbox"/> 壁設深さ	
	<input type="checkbox"/> 雨 水 利 用 設 備	
	<input type="checkbox"/> 配管材料	イ)一般配管 既設 ○ 改設 ○ ○集水管 既設 ○ 改設 ○
	<input type="checkbox"/> 量水器	○直通式 ○バース式 ○圧縮式
	<input type="checkbox"/> 分 岐 管	○圧縮式はJIS又はJVSKとする。
	<input type="checkbox"/> 熱調理器の熱源	
	<input type="checkbox"/> 廚房機器類	○)仕様・性能等は表示による。機器の寸法は裏書き付する。 ロ)厨房機器取付付属部は、標準施工7.4による。 ハ)バックガードや吸音器は機器本体による。
淨 化 槽 設 備	<input type="checkbox"/> 溶 解 能力	対象人員 人 BOD濃度 mg/L BOD除去率 %以上 ○流入負荷 ○処理方式
	<input type="checkbox"/> 主要構造	○小規模合流処理 (表示区分第1の処理方式及びその他同等の能力を有するもの又は基準基法施行令第35条の処理方式を定めるもの) ○合流処理 (表示区分第2、第3、第6の処理方式) ○ユニット形 (F R P 形) ○現場施工形
	<input type="checkbox"/> 置設スペース	約 L x W 相 x V x kW
	<input type="checkbox"/> 総電気容量	
	<input type="checkbox"/> ばっ水槽用送風機	イ)屋外に設置する送風機はカバーとし、コンクリート基礎上に固定する。 ロ)送風機はケーブル (ビニルキャブライケーブル) を約 m付属する。 ハ)送風機と2基設置する場合イヤマによる自動起動互連ととする。
	<input type="checkbox"/> 流入側	イ)流入管 設計G.L.- ○浄化槽全体への自然流水方向 (必要な場合はボップアップ方式とする) イ)浄化槽全体よりの自然放流水可管理 設計G.L.- m ロ)浄化槽全体よりの自然放流水方式 (必要な場合はボップアップ方式とする)。 構造上不要の場合設計しない。
	<input type="checkbox"/> 放流水側	○流入用及び放流水用は各2台設置し、自立交替異常時同時運転とする。 ○排気管と排気孔は各1台設置する。 ○排気孔は標準仕様による。
	<input type="checkbox"/> 排 氣 管 及び 排 氣 孔	○排気孔標準品 ○標準仕様による。 ○排気孔標準品、漏洩抑制等の括放散表示用電圧接点及び端子を設ける。○排泄物標準品安全部 (OS-O1 OS-O2 OS-KN以上とする。) ○標準規格 (OMH-A OMH-B OMH-C) 耐荷重はマニホールド安全荷重によること。 イ)基準柱 ○要 (○本工事○別途) ○不要 ロ)基準コンクリート ○要 (○本工事○別途) ○不要 ハ)各切り ○本工事 ○別途 ミ)埋設 ○本工事 ○別途 ホ)取扱 (深埋施工形の場合) ○本工事 ○別途 ヘ)止止め ○要 (○本工事○別途) ○不要 ト)穴開き (自然水位G.L.-m) ○要 (○本工事○別途) ○不要 チ)残土処分 ○構外搬出 ○敷き均し 3.0t/m <sup>2</sup> を納入する。 一定期間正常状態で使用後、放流水質等を記入した測定表を提出する。 合成樹脂製パイアル (厚さ5mm以上、文字は彫り込み) を取り付ける。 ノズル式又は泡洗式とする。
	<input type="checkbox"/> 消 毒 剤 の 提 出	受注者は、受注者又は下請負人に對して暴力団又は暴力団關係者による不當介入があつた場合は、警察又は受注者へ通報・報告しなければならない。また、警察の捜査上必要な協力をうるものとする。
	<input type="checkbox"/> フロ ーシ ート や 消 泡 装 置	
そ の 他	<input type="checkbox"/> 暴力団又は暴力団關係者による不當介入に対する通報・報告の義務	

承認	担当	製図
下田小学校空調設備整備工事 (機械設備)		
機械設備工事特記仕様書 (2)		

工事区分表(他工事との取合い等)		区分は○印を適用する		A 建築工事		E 電気設備工事		M 機械設備工事		EV エレベーター設備工事		※複数箇所に○印があるものは、各工事を適用する																						
項目	目	A	E	M	EV		備考	項目	目	A	E	M	EV		備考	項目	目	A	E	M	EV		備考	項目	目	A	E	M	EV		備考			
躯体関係								その他								その他																		
R C 壁(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブ	○	○	○	○			その他	トラフ・ビット類(ふたを含む)	○						事務室廻り																		
S-SRC 壁(梁・壁・床)の貫通孔・開口部	貫通スリーブの補強	○						その他	R C 造各種ビット	○						事務室廻り	フリーアクセスフロアパネル切込み加工	○																
軽鉄天井・壁下地	開口部の型枠・補強	○						仕上関係	同上用マホール・タップ	○						事務室廻り	フリーアクセスフロア給排気グリル	○																
機械室の基礎	貫通スリーブ・開口部の垂出し	○	○	○	○			軽鉄天井・壁下地	排水溝	○						事務室廻り	フリーアクセスフロアコンセント	○																
機械室の基礎	貫通スリーブ・型枠部の穴埋め	○	○	○	○			可動間仕切	既設埋設配管調査(X線探査含む)	○	○	○			事務室廻り	壁・天井空調給排気グリル	○																	
エレベーター関係	予備スリーブの穴埋め	○	○	○	○			吊りボルト及びインサート	機器取り付け用アンカー・架台	○	○	○			その他	感知器連動防火戸のレリーズ用切込み	○																	
機械室・昇降路の躯体	機械室・床開口	○						吊りボルト及びインサート	基礎	○						その他	消火器ボックス	○																
機械室・昇降路の躯体	機械室の床配管ビット・蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						その他	表面仕上げ必要な全熱交換器等の表面仕上	○																
機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						壁・天井・床点検口	○																	
機械室内換気設備	卷上機周囲のチェックアーリング取付	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	昇降路内ビット防水	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	ピッカ点検タップ	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	各階出入口穴あけ・同補強	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	三方栓取付・栓埋り埋戻し・同補強	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	出入口扉・三方栓及び幕板	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	昇降路が工場の外の出入口扉・三方栓及び幕板の固定用鋼材	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	昇降路の内側のL・T・カット・T・カット支承軸・他昇降路内側面鋼板取付式	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	フックアッテ固定ビース	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	機械室天井・昇降路内のフック取付	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	昇降路用シリカガラス(既製品・建築用シリカガラス)	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	ホールド釘・インジケータなどの壁開口	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	異常内頂部荷重感知器	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	ピッカ内点検用センサ・点検設備工事	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	E/V制御盤までの動力・照明用電源、アース、防雷直撃保護装置(監視送受用)記録・記録工事	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	監視端子(監視用シリカガラス)の取付工事	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	E/V制御盤からの監視端子(監視用シリカガラス)の取付工事	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	E/V制御盤又はE/V監視端子での保守送回記録用(音話回線)の記録工事	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	E/V制御盤又はE/V監視端子での監視端子の取付工事	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	監視端子受電用の取付工事	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																
機械室・昇降路の上蓋	監視端子(監視用シリカガラス)計測用毫ワット計打刻自効制御盤までの記録・記録工事	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○						機械室・昇降路の上蓋	機械室の上蓋	○																

承認	担当	製図
----	----	----

下田小学校空調設備整備工事(機械設備)

機械設備工事特記仕様書(3)

A1: -

A3: -

M-03

## 電気設備改修工事特記仕様書

### I. 工事概要

1. 工事場所 上北郡おいらせ町館越38-1 (下田小学校)

### 2. 建物概要

建物名称	構造	階数		建築基準法上の別表第1の区分	消防法施行令別表第1の区分	備考
		地上	地下			
小学校	R.C造	3階				

### 3. 工事種目 (●印の付いたものを適用する。)

工事種目		備考
	教室棟	屋外
○電灯設備		
●動力設備	改設一式	
○電気用転車用電気設備		
○電気防護装置		
○電気設備		
○電気設備		
○電気設備		
○構内放送機器		
○信号機		
○映像・音響設備		
○防音設備		
○誘導支援設備		
○テレビ共同受信設備		
○監視カメラ装置		
○駐車場監視設備		
○防犯・入退室管理設備		
○火災報知設備		
○中央監視制御装置		
○構内通信路		改設一式
○構内通信路		
○		

4. 指定部分 ●なし  
○あり 規範: 工期: 令和 年 月 日

### II. 工事仕様

#### 1. 共通仕様

(1) 図面及び本特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁營繕部制定の下記仕様書等のうち、●印が付いたものを適用する。

●公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編) (平成31年版) (以下「標準仕様」という。)  
●公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編) (平成31年版) (以下「標準仕様」という。)

(2) 機械設備工事に付帯する場合は、機械設備工事は機械設備の部の特記仕様書を適用する。

なお、機械設備の部の特記仕様書は( )印による。

(3) 新型コロナ感染症の影響に伴い、納期の見直し等がある場合協議すること。

#### 2. 特記仕様

項目及び特記事項は、●印が付いたものを適用する。

#### 3. 項目 特記事項

章	項目	特記事項	図面	
			施工範囲	取扱い
一般	○適用区分	建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。 ○風圧力 (V= ) 地表面粗度区分 ( ) ○積雪荷重 建設省告示第1455号における区域 別表 ( )		
共通	●電気工作物保安規程	東北地方整備局制定の營業工事事業用電気工作物保安規程を適用する。		
●電気工事士	最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事士により施工を行う。			
●機材の品質等	(1) 本工事に使用する機材等は、設計図面に定める品質及び性能の他、通常有すべき品質及び性能を有するものとする。 (2) 下表に機材名が記載された製造業者は、次の方からすべての事項を満たす旨明確となる資料を提出し監督職員の承認を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承認を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。 ①品質及び性能に関する試験データを整備していること。 ②生産能力及び品質の管理を適切に行っていること。 ③定期的な点検が可能であること。 ④法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること。 ⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。 ⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。			

機材名	製造業者等名
LED照明器具(一般屋内用に限る。)	明和電機
可燃速燃転用インバータ装置	
分電盤	
制御盤	
キーピュル式配電盤	
高圧スイッチギア(Ω形)	
高圧スイッチギア(PP形)	
高圧交流遮断器	
高圧変圧器	
高圧進相コンデンサ	
高圧限流ヒューズ	
高圧負荷開閉器	
交換無停電電源装置	
太陽光発電装置(パワコンディショナ及び系統連系保護装置)	
監視カメラ装置	
主電気監視制御・監視制御装置	

### ●環境への配慮

### ○仮設工事

○7スパ含む製品調査

イ) 撤去機器、器具等についてアスペクト含有製品調査を行い、監督職員に報告する。  
調査範囲 ( )  
調査方法 (O 型番確認の上、製造者ヒアリング)  
ロ) 下記のアスペクト含有製品の定性分析調査を行うものとし、採取部位及びサンプル等は監督職員と協議する。  
なお、調査にかかる費用は、〇本工事 〇別途 とする。

○特記仕様による。

○足場その他の施設  
●別契約の脚部受注者が定置したものは無償で使用できる。  
○本工事に設置する。

「手順先行工法」に関するガイドラインに基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別1「手順先行工法による足場の設立等に関する基準」における2の(2)手順表示方式又は(3)手順先行専用足場方式による。

○内部足場 植別 O 脚立、足場板等  
○外部足場 植別 O A種 O B種 O C種 O D種 O E種  
○足場シート O 設置する。 O 設置しない。

○材料、撤去材等の運搬方法(建築工事編2.2.1 表2.2.2による。)  
種別 O A種 O B種 O C種 O D種 O E種

○仮設仕事切り  
種別 O A種 O B種 O C種  
○既設部分の墨出し  
○行う (O ビニルシート等 O )  
○行わない

50HZ

はつり工事は、事前に走査式理賃調査を行い、監督職員に報告する。

イ) 放射線透過検査等による機器の調査  
範囲は監督職員の指示によるものとし、費用は別途とする。

●電源周波数  
●はつり  
○非破壊検査

●あと施工アンカーパン  
●施工用工具

●撤去跡の補修  
●既存施設等の復旧  
●支持金物・固定金具

○既存壁の改修  
○下部釘頭の改修等は、既存仕上げと同等の補修とする。

施工に際し既存設備、施設等に損害を与えた場合は、原状に復旧する。

イ) 屋外機器及び屋内の配管に使用する支持金物(ボルト類)はステンレス鋼(304)とし、屋外機器のアンカーボルトのナットにはナットキャップ(樹脂製)を取り付ける。

ロ) 振動を伴う機器の支持金物のナットはダブルナットとする。

○下部釘頭の改修等は、製造業者による作業とする。  
○分電盤  
○御留置  
○受電盤

○壁の改修と改修後に開通する器具類、回路等の動作確認試験を行い、試験成績を監督職員に提出する。

○壁の工事を完了後、単線接続図の更新を行う。

各機器の別途耗能に於ける機器について総合動作試験を行い、試験成績を監督職員に提出する。

○電照制御装置  
○受電変換装置  
○電力貯蔵装置  
○発電装置  
○駆動管路制御装置  
○防犯・入退室管理装置

新設する電線類は、図面に「EM—O」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。

屋外、及び地下ビブで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外耐溶融鉛めっき(めつき付着量30g/m以上)」仕上げとする。

なお、特記の場合は設計用標準水平震度は次による。

○総合動作試験  
○機器の重量 [kg] に、設計用標準水平震度を乗じるものとする。

○既成樹脂製可とう  
●電線・ケーブル  
●厚銅電線管

新設する電線類は、図面に「EM—O」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。

屋外、及び地下ビブで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外耐溶融鉛めっき(めつき付着量30g/m以上)」仕上げとする。

○既成機器の分類は、施設の耐震安全性に応じて次による他、「建築基準耐震設計・施工指針・2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。

○設計用水平地震力  
機器の重量 [kg] に、設計用標準水平震度を乗じるものとする。

なお、特記の場合は設計用標準水平震度は次による。

○既成樹脂製可とう  
●電線・ケーブル  
●厚銅電線管

新設する電線類は、図面に「EM—O」の記載がなくとも、EM電線、EMケーブルを使用する。

屋外、及び地下ビブで使用する厚銅電線管のうち特記のないものは「内外耐溶融鉛めっき(めつき付着量30g/m以上)」仕上げとする。

○既成機器の分類は、施設の耐震安全性に応じて次による他、「建築基準耐震設計・施工指針・2014年版」(独立行政法人建築研究所監修)による。

○既成機器の分類は、施設の耐震安全性に応じて次による他

項目		特記事項											
一般共通事項	●本受電後の基本料金 ○計上する(想定契約電力 kw、想定期間 ヶ月間) ○計上しない	雷保護装置 ○耐震措置 ○保溫、結露防止 ○呼び線 ○再使用機材・委生 ○環境に配慮した電線	○保護レベル ○受雷部 ○避雷導線 ○接地極	○ I ○ II ○ III ○ IV ○突針 ○ 水平導体 ○ メッシュ導体 ○ 構造体利用( ) ○建築構造体利用 ○建築構造体利用	○ローテーションアウトレット ○保安器用接地 ○構内情報通信網設備 ○拡声設備 ○映像・音響設備 ○主遮断装置 ○設備容量 ○変圧器 ○油泵(○屋外キューピクル ○) ○モールド(○) ○高圧 ○ 低圧 ○自動功率制御装置	○一般電話用 個(○ 納入する ○ 取付ける) ○銅合金製 ○アルミ製 ○本工事 ○別途工事 ○イーサネット(方式: ) ○無線LAN(方式: ) ○増幅器: Ⅴ ○卓上形 ○ キャビネットラック形 ○一般用 ○ 非常用 ○ 備用 ○増幅器: Ⅴ ○レコーダー: ○ 8時間以上録音又は録音のできる記憶容量 ○時間以上 ○プロジェクト: ○ 前投写式 ○ 背面投写式 ○スクリーンサイズ: 15インチ ○退出表示盤: ○ 多線直接式 ○ パルス伝送式 ○親時計: 回線 ○時刻補正: ○ 標準電波方式 ○ FMラジオ方式 ○ GPS方式 ○壁掛式 ○ 自立形 ○電子式チャイム組込み ○片内連絡用 ○ 身体障害者用 ○ 夜間受付用 ○ エレベーター用 ○テレビ共同受信設備 ○蓄電池 ○交流無停電電源装置(UPS)	○監視制御装置 ○監視操作装置 ○空調 ○ 衛生 ○ I型 ○ II型 ○ III型 ○ 壁掛式○ 屋立形 組み機器: ○ グラフィックパネル ○ モザイクパネル ○ 合成樹脂パネル ○ディスプレイ: ○ 内照式液晶方式 ○ タッチパネル式の内照式液晶方式 ○信号処理装置 ○補助盤 ○電源装置	○動力設備 ○受変電設備 ○自家発電設備 ○火災報知設備	○監視制御対象設備 ○監視操作装置 ○空調 ○ 衛生 ○ I型 ○ II型 ○ III型 ○ 壁掛式○ 屋立形 組み機器: ○ グラフィックパネル ○ モザイクパネル ○ 合成樹脂パネル ○ディスプレイ: ○ 内照式液晶方式 ○ タッチパネル式の内照式液晶方式 ○信号処理装置 ○補助盤 ○電源装置				
●はつり	既存コンクリート部の床、壁の配管貫通部等の穴開けは、原則としてダイヤモンドカッターによる。	●キューピクル、分電盤、制御盤等	キャビネットの仕上げ: ○ 製造者の標準色仕上げとする。 ○ 下記部位に取付けるものは、指定色仕上げとし、それ以外は製造者の標準色仕上げとする。 ○ 屋外 ○ 居室( )	EM-UTP-7" ● JCS5503 施工性を考慮したLAN用ワイヤタイプケーブル (EM-UTP5E) 施工性を考慮した、軽量・柔軟なUTPケーブル(EU-UTP-CAT5E/F) (EM-UTP6) 施工性を考慮した、軽量・柔軟なUTPケーブル(EU-UTP-CAT6/F) (EM-UTP6A) 施工性を考慮した、軽量・柔軟なUTPケーブル(EU-UTP-CAT6A/F) (EM-F-UTP6A) 施工性を考慮した、軽量・柔軟なUTPケーブル(EU-F-UTP-CAT6A/F)	電力貯蔵設備	○直流電源装置 ○蓄電池 ○交流無停電電源装置(UPS)	○非常照明器具電源・受変電設備制御電源共用 ○非常照明器具専用 ○受変電設備専用 ○鉛蓄電池(O HS O MSE O ) ○アルカリ蓄電池(O AH O AMH O ) ○リチウムイオン電池(O ) 始電方式: ○ 常時インバータ給電方式 ○ ラインインタラクティブ方式 ○省エネルギー給電方式 方式: ○ 単相2線 ○ 单相3線 ○ 三相3線 電圧: ○ 100V ○ 200/100V ○ 200V 容量: kVA 補充時間: 分以上 電解液処理: 盤着脱着方法:	○監視カメラ設置 ○駐車場管制設備 ○防犯・入退室管理設備	●工事範囲 ●電気方式 ●配管路 ●電気設備 ●地中埋設式 ●標識シートの埋設 ●柱上機器 ○高圧ケーブルの端末処理 ○外灯設備 ○その他	●管路 ●配線 ●機器類 ●電気方式 ●配管路 ●地中埋設式 ●特別高圧 ●電気用 ○高圧負荷開閉器: ○ 一般用 ○ 耐重電じん用 ○地絡絶電器付(○ 方向性 ○ 无方向性) ○避雷器: ○ 一般用 ○ 耐雷用 ○高圧カットアウト、碍子等: ○ 一般用 ○ 耐雷用 屋外側: ○ 一般用 ○ 耐雷用 ○定格電圧: V W ○ボルト内には、記録用遮断器(トリップ機構無し)を設ける。 東北電力(株)外線工事基準(架空線編)に準ずる。			
電灯設備	○電気方式 ○連続調光形LEDとする 室名( ) ○誘導灯 ○非常用照明器具 ○ハイテンションショックア トレッド	○形式 ○発電機 ○原動機	○簡易形 ○ キューピクル式 ○ オープン形 電気方式: 三相3線式 50Hz 電圧: V 定格出力: kVA 形式: ○ ディーゼル ○ ガスタービン ○ マイクロガスタービン 定格出力: kW(PS)以上 定格出力: kVA 方式等: ○ 始動方式 ○ 電気方式 ○ 空気式 冷却方式 ○ ラジエータ式 ○ 水冷循環式 冷却水 ○ 不凍液○ 混合した水道水 ○ 水道水 断熱材: ○ ロックウール ○ 厚さ等: ○ 15mm ○ 種類: ○ 軽油 ○ 灯油 ○ A重油 ○ 燃料ガス(○ 燃料小出荷 1t/年) 主貯油槽(地下): ○ なし ○ あり(○ 別途 ○ 本工事)	自働火災報知設備	○受信機: Ⅰ型 Ⅱ型 回線 ○壁掛形 ○ 自立形 ○単独 ○ 模合盤(自爆、火警報知回線、自動閉鎖回線、ガス漏れ警報回線) ○副受信機: 回線 ○機器取扱説明書: ○ 専用形(○ 壁掛け形 ○ 露出形) ○屋内消火栓箱に組込み ○埋込形 ○ 露出形 緊急地震放送: ○ 行わない ○ 行う ○自動閉鎖装置	○工事範囲 ○用途 ○配管路(材質) ○敷設方法 ○地中埋設式(標識シート ○ 埋設しない ○ 埋設する) ○架空線式							
動力設備	●電気方式 ○警報盤 ○電磁開閉器用押釦 ●機器への接続 ●電動機等の接地 ●総合動作試験	○燃料 ○太陽光発電装置	○排気系統配管 ○燃料 ○太陽光発電装置	○非常警報装置 ○自動閉鎖装置 ○ガス漏れ警報装置	○連動制御器(回線(遠方復帰機能: 回線)) ○単独(○ 壁掛け形 ○ 自立形) ○ 自爆報受信機等との複合盤 ○自動閉鎖機 ○防火戸用(本工事、電気式又はラッチ式、DC24V、0.6A以下) ○防煙シャッター用(別途工事、瞬時通電式又は電動式、DC24V、0.6A以下、 遠方復帰機、DC24V、0.7A以下) ○防火シャッター用(別途工事、DC24V、0.6A以下) ○自動閉鎖機 ○排煙ダンパー(別途工事、排煙機運転用運動機構付) ○受信機: Ⅰ型 回線(○ 都市ガス用 ○ 波化石油ガス用) ○単独(○ 壁掛け形 ○ 自立形) ○ 自爆報受信機等との複合盤	○工事範囲 ○用途 ○電話用 時計・拡声用 ○ 火災報知用 ○ 情報通信 ○配管路(材質) ○敷設方法 ○地中埋設式(標識シート ○ 埋設しない ○ 埋設する) ○架空線式							
電熱設備	○電気方式 ○発熱線 ○施工場所及び面積	○構内交換設備	○電話交換機 ○電話機 ○電話機への配線	○電話交換機 ○電話機 ○電話機への配線	承認 担当 製図 参考 下田小学校空調設備整備工事(機械設備) 電気設備改修工事 特記仕様書(2)	A1:NON E-2							
						2022.01.	A3:NON						